

日本気象学会として推せんする 日本学術会議第5期会員候補者選挙の結果

本日開票の結果、投票総数および各会員の得票数は下記の通りです。

投票総数	666票
当選	畠山久尚 470票
〃	和達清夫 445〃
次点	有住直介 349〃

備考

1. 以上は有資格者名および有効得票数のみです。
2. なお4位以下は得票数が13票以下であり省略します。

昭和34年7月23日

日本気象学会 選挙管理委員会

日本気象学会昭和34年度秋季大会のお知らせ

日時：昭和34年11月7日（土）および8日（日）午前9時より

場所：九大農学部防音教室（福岡市箱崎町）

行事日程：

第1日 研究発表

第2日 研究発表、岡田賞授賞式および同記念講演

シンポジウム（レーダーの天気予報への利用）

研究発表募集

- 1) 講演申込締切：9月30日までに必着のこと
- 2) 申込先：東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎
- 3) 様式：必ず所定の用紙に記入のこと（天気綴込）用紙のない場合は事務局または支部に請求されたい
- 4) 講演時間：20分以内（日程が短いため講演企画委員会が短縮することがある）

“Beiträge zur Physik der Atmosphäre” にも論文を！

“Beiträge zur Physik der Atmosphäre” は1904年の創刊で、気象学の発達に寄与して来ましたが、戦争のために一時途絶え、1955年に“天気”にも広告したように再刊しました。この雑誌は、国際的性格を強く打ち出したもので、国籍の如何を問わず、地球物理学者からの論文を編集し、各国科学者間の親密化を図ろうとするものです。論文の用語は英独仏のいずれかです。新しい良い論文を御寄せ下さい。

ただし、この論文は未印刷のものに限ります。また Beitrage に載つた時には、編集者、印刷者の許可なくして他に転載することはできません。

論文にはアブストラクトをつけて下さい。またあまり使われていない専門語を使う時は論文の最初に簡単に説明して下さい。文献は論文の後に表にしてつけ、順序は本文中に出て来た順にします。図は簡潔明瞭にし、一図毎に紙を変え、図の説明は別の用紙に書いて下さい。別刷は60部まで無料です。宛先は

Prof. Dr. J. Van Mieghem
Institut Royal Météorologique
3, avenue Circulaire
Brussels 18, Belgium